

トップランナー要件を満たした企業の取組紹介

[取組一覧へ戻る](#)

| 取組名 | 企業名 |
|----------------------------|---------|
| ビオトープエリアを活用したローム本社の緑地価値の向上 | ローム株式会社 |

取組情報

いきもののための緑



ビオトープエリア イメージ図



ビオトープエリアでの環境イベント



ビオトープエリアでの農作業体験

○認定日
2023年4月5日

○該当分野
(e)自然との共生に係るもの

○取組の内容
「森の中の工場」をコンセプトに進めている緑化整備の取り組みは、生物多様性に関する第三者評価機関（ABINC、SEGES）から高い評価をいただいています。ロームでは、親水空間を創出するため、京都市街の本社敷地内に8,400m²のビオトープエリアを造設しました。緑地が少ない市街地でも、親水空間は鳥や昆虫などを保全する上で非常に効果的であるという調査結果が出ています。このビオトープエリアを活用して、在来種の保全を推進すると共に、地域住民や社員の家族を対象とした環境コミュニケーション施策を実施しています。

○取組の判定とポイント
(先進性 / 独自性 / 波及効果)
水資源の利活用等について、自社の事業における生態系への影響を分析し、評価をした上で、「ロームグループ環境ビジョン2050」の達成に向けた中長期計画を設定している点。また取組の一環として、ビオトープエリアを活用した施策を実施しており、本社の緑地価値の向上に繋がる定量的な目標の制定を検討している点。

○内容に関する情報ページURL
[自然共生の取組み](#) | [環境マネジメント](#) | [ROHM Corporate Social Responsibility](#)